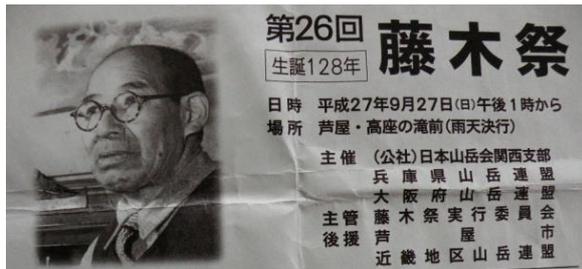


9月27日(日)開催 第2912回例会
 兵庫県山岳連盟同調 藤木祭記念ハイク
 「保久良山から高座の滝へ」

布引支部 S・T

集合場所である岡本の桜守公園は、閑寂な住宅街の中にあるので早朝より多くの方が集まって大きな声は出せません。したがって、保久良山への西側からの登山口である岡本八幡神社横にあるミニ公園へ移動し、ここでリーダーよりご挨拶やコースの説明などが行われました。



第26回 藤木祭
 生誕128年

日時 平成27年9月27日(日)午後1時から
 場所 芦屋・高座の滝前(雨天決行)

主催 (公社)日本山岳会関西支部
 兵庫県山岳連盟
 大阪府山岳連盟
 主管 藤木祭実行委員会
 後援 芦屋市
 近畿地区山岳連盟

「藤木祭」とは近代登山の先駆者である藤木九三氏(ロックガーデンを命名し、岩場の開拓を始め、岩登り技術の基礎づくりをされたわが国を代表する登山家・指導者)を偲んで、多くの岳人が集って旧交を温め、加えて登山の発展と安全を祈る場として毎年催されており、本年は第26回目を迎えられたとのことです。



出発して約20分で保久良神社へ到着。登り始めは体が慣れていないのでここでのトイレ休憩は有難い限りです。又、ゆっくりとした歩調でしたので登りが苦手な私にとっては大変助かりました。金鳥山手前の展望台で2回目の休憩。ここで金鳥山をこよなく愛するMさんより、この山に纏わる歴史的なお話が有り、興味深く聞くことが出来ました。ととやみち魚屋道への分岐まで来ると後は下る一方です。巨岩の蛙岩はこのハイキング道のシンボルの存在で、甲南山手から登ってくる場合もこの岩が見えるとホッとします。



えげのやま
 会下山遺跡への下りは結構急坂で、木の根などで躓かないよう慎重に下りました。集合時の説明で、「今回の藤木祭ハイクは混雑するロックガーデンコースを避け、余り歩くことのないルートと、案外来られた方が少ない会下山遺跡を訪ねることです」と聞いていたので興味津々でした。一番高い見晴らしの良い場所は祭場であったとのこと。最も大きな竪穴住居跡などを見ながら復元された高床倉庫のある場所に到着。



ここが集落の中心であったそうです。
 ゆったりとした昼食

時間の後、環境省の高橋アクティブレジャーより「外来生物」についてのお話がありました。外来生物の種は2000種以上も有り、農産物



や家畜、ペットなど生活に欠かせない生物がある半面、地域の自然環境などに大きな影響を与えるものもいる・・・等々。



記念ハイクのゴールは高座の滝で催されている藤木祭会場。ハイクに参加された61名のほとんどの方が到着し、会場は大賑わいでした。

今日は弥生時代に思いを馳せ、その時代から現代までの歴史を思い想像しながら楽しく歩けたハイキングでした。